

令和5年度 第1回ふるさと館運営協議会顛末

日 時：令和5年6月6日（火）午後4時00分～4時50分

場 所：飯山市ふるさと館 学習室

出席者：千坂経悦、武田 誠、森本浩正、日台智子各委員

松木教育長、田中文化振興部長、事務局4名

欠席者：木原利幸委員

進 行：田中部長

1 開 会

（部 長）令和5年度、第1回運営協議会を開会します。

2 辞令交付 松木教育長より森本委員、日台委員へ

3 あいさつ

（千坂会長）コロナによる地域への影響は大きかったように思う。特に中止となったお祭りを再開できる地域の力は残っているのか。このまま消えていく地域もあるのではないかと案じている。地域の歴史を継承していく役割を持つのがふるさと館だと思うので、皆で十分に審議していきたい。

（教育長）ふるさと学習が市民に定着してきている。特に学校では地域を学ぶ取り組みが以前より増えている。城北小学校が令和7年に開校することも踏まえ、小中連携されたプログラムを持ちながら、地域の皆さんへも、ふるさと飯山の良さを知ってもらい、広げていけるような取り組みをこれからも推進していきたい。

4 自己紹介

5 協議事項（進行：千坂会長）

① 令和4年度事業報告

（事務局）資料に基づき説明

（進 行）質問等ありますか。

（教育長）入館者数の推移の表だが、コロナ前の数値はどれくらいか？

（事務局）総入館者数の数値は、以下のとおり。

平成27年度→9,344名

平成28年度→9,198名

平成29年度→8,819名

平成30年度→8,738名

（会 長）昨年度のセカンドスクールはどこからか？

（事務局）関東方面。横浜、武蔵野など。姉妹都市の関係も。

（会 長）コロナでも来てもらってますね。

(事務局) 数は多くないが、来ている。

今年度については、(各受け入れ民宿より) 週に2回ほどのハイペース。今の時点で既に昨年度の人数を越している。

(会 長) このまま回復して行ってほしいですね。

(委 員) 雨天対策にも良いと思う。

(事務局) はい。農業体験が雨でできなくなった時にも活用して欲しい。

(委 員) 寄贈資料に掲載されているウマグツというのはどういうものか？

(事務局) 冬、馬が滑らないように履かせたもの。

(委 員) 蹄鉄とは違うんですね。

(会 長) ウマグツに関連して。ワラジを作る体験などどうか。子ども達にも。わらは屑が出やすいので例えばトウモロコシの皮なども良いのでは。自分で編んだ履き物で遊んでみるとか。

(委 員) 田んぼのわらは粉碎してしまうので、稲わらそのものが今は貴重。トウモロコシの皮も取っておくことがなくなってきているので今や貴重品。柔らかくて履き心地いい。ごみにもならないし。

(事務局) 今年8月、トウモロコシの皮を使ったぞうり作りの体験教室を予定している。

(委 員) いいですね。昔は、わらぞうりより高級品だった。

(会 長) 「縄をなう」の「絢う」という手作業が廃れていると思う。わらの素材に拘らず「絢う」ということは道具の基本と思う。そんな体験も面白いかと。

(委 員) 良いと思う。手の中で捻ることが出来ない子どもや大人が多いと思うので。

(事務局) 頂いた意見を参考にしながら進めていきたい。

② 令和5年度ふるさと館事業計画

(事務局) 資料に基づき説明

(進 行) 質問ご意見ありますか。

(委 員) 3月の友の会総会の折、島崎藤村の話題が上がった。会員同士が交流しながら、自由なテーマを学びあう場として「サロン」を立ち上げることにつながり、まずは「藤村と飯山」をテーマに行う運びとなったことを紹介したい。

(委 員) 私も本日、藤村のことをお伝えしたい。藤村は、近代詩ともいえる、「椰子の実」に代表されるような詩歌を明治になって作り上げた方。自然主義の小説家としても功績が高く、忘れ去られることのないよう、関わりの深い飯山で、「藤村と飯山」をテーマに学習を深めていってもらえればと思っている。それと、もう1点。郷土の歴史を学ぶということについて。

教育現場にいた頃、例えば「正受老人」についての本をお配りいただき有難かったが、そこから先に繋がらなかった思いがある。そこで、現場の先生方へのサポート的なお手伝いをお願いすることはできないか。例えば出張講座で正受老人についてお話頂くとか。アイネットの長瀬先生の「史跡巡り」とコラボする企画なども提案したい。

(教育長) 人権政策課が事務局の市民大会で、「破戒」の上映を今年12月に計画してい

る。紹介したい。

(委員) あと、「笹もち作り」の体験は大切と思う。飯山地域の笹もちは2枚葉の珍しいもの。最近は田植えが早まり季節感も変わってきているが、残していきたい文化。

(委員) 学校のクラブ活動・出張講座などで学校への支援を行っているということを校長会を通じ、私も委員としてPRしていきたい。

また、本日地域の文化や宝物について皆さまから話が聞くことができ良かった。そんなことも職場へ戻った後に学校内で共有していきたい。

(事務局) 頂いた意見を参考とさせていただき取り組んで参りたい。

6 次回開催日

11月21日(火) 16:00～

7 その他

8 閉会

(部長) それでは、これで第1回運営協議会を閉会します。本日はお忙しい中ありがとうございました。